



3学期始業式にて

校長 久保 仁

3学期の始業式で子どもたちに話した

ことの一部を紹介します。

～これも大きな節目の一つです。私たちは、この節目をきっかけに自分を変えるチャンスにしたり、自分を励ましたりして、行けるのです。月の始まりの1日、週の始まりの月曜、一日の始まりの朝。これらの節目を大事にしましょう。一本まっすぐ伸びている竹も、節があることで風で揺れても大丈夫なのです。何もない竹だと、途中で折れてしまうけど、それぞれの節が揺れを吸収することで、竹は風にも雪にも負けずに伸びているのです～

人の人生も時に浮き沈みがあります。竹にも節目があるように、人生の途中の節目を大事にし、子どもたちには、まっすぐしなやかに伸びてほしいと願っています。

2月・3月の主な行事予定

月日	曜	校 内 行 事
2/ 2	月	放課後子ども教室
5	木	委員会活動
6	金	来年度入学児童一日入学（午後）
10	火	避難訓練（地震） 貯金日
11	水	（祝）建国記念の日
13	金	参観日 学級懇談会 進学説明会 外国語活動 6年食調理実習
19	木	クラブ活動（5・6校時）
20	金	特別支援学級校外学習（海響館） 友遊タイム
25	水	幼・保・小交流会
26	木	口座振替日 集金日 クラブ活動
27	金	外国語活動
3/ 2	月	6年生を送る会 放課後子ども教室
3	火	年度末PTA理事会
5	木	年度末PTA評議員会・新旧役員引 継会 委員会活動
6	金	友遊タイム
11	水	貯金日
20	金	卒業証書授与式
23	月	短縮授業
24	火	短縮授業
25	水	1～5年給食終了
26	木	修了式 学校運営協議会
27	金	3/27～4/7 春休み
31	月	離任式

2月13日（金） 参観日

・13:30～14:15 授業参観

（6年は、図書室にて保護者対象の進学説明会）

・14:20～ 児童一斉下校

・14:30～15:15 1～5年 学級懇談会:各教室

○本年度最後の参観日になります。

1～5年生の保護者の皆様は、来年度PTA学級委員を決める話し合いがあります。よろしくお願いします。



1月8日（木）始業式を行いました。6名の代表児童が新年の誓いを堂々と発表しました。



「学校評価アンケート」へのご協力 ありがとうございました。

アンケートの結果をもとに今年度の伊佐小学校の教育活動について全教職員で話し合いました。その結果を「学校評価書」にまとめ裏面に掲載いたしましたので、どうぞご覧になってください。



1月21日（水）第5回学校運営協議会（小中合同拡大委員会）で、今年度の取組を学校運営協議委員・PTA役員・教職員で協議しました。

伊佐小学校 自己評価書

平成27年1月14日

学校名	美祢市立伊佐小学校				
校長名	校長 久保 仁				
自己評価実施日	前回実施日 平成25年11月22日		今回実施日 平成26年11月19日		
学校評価アンケート回収率	児童	135 / 135名	100%	教職員	11 / 11 100%
	保護者	100 / 103名	97%	地域住民	12 / 12 100%

教育目標 心豊かに生きぬく子どもを育てる													
各部会名		まなび・知チーム				こころ・徳チーム				からだ・体チーム			
各部会活動視点		まなびが学校で高まり、家庭で深まり、地域で広がる取組の推進				人や物との関わりを通して心を育てる道徳教育の推進				元気な体をつくる食育・体育の推進と生活習慣の定着			
1 取組項目 (各チームの重点目標及び、学校評価アンケートの質問項目①～⑮)		■授業づくり ① ■家庭学習 ② ■読書活動 ③ ■地域人材 ④ □幼保－小－中連携 ⑮				■あいさつ運動 ⑤ ■体験活動 ⑥ ■生徒指導 ⑦ ■キャリア教育 ⑧ ■道徳教育 ⑨ □情報提供 ⑭				■体力づくり ⑩ ■食育 ⑪ ■生活習慣 ⑫ □交通安全 ⑬			
2 目標の達成状況 (学校評価アンケートの結果) 各肯定率%	学心体	児童	保護者	教職員	地域	児童	保護者	教職員	地域	児童	保護者	教職員	地域
	①⑤⑩	92%	71%	100%	91%	94%	74%	81%	74%	77%	90%	100%	91%
	②⑥⑪	92%	88%	100%	91%	83%	88%	90%	91%	94%	96%	100%	100%
	③⑦⑫	79%	84%	81%	100%	82%	73%	100%	83%	73%	87%	100%	100%
	④⑧⑬	87%	83%	71%	83%	83%	54%	90%	74%	96%	79%	72%	91%
	⑮⑨	75%	81%	90%	100%	91%	74%	100%	83%				
	⑭					84%	76%	81%	83%				
3 取組の適切さの検証結果		・「教えて・考えさせて」の学習過程を意識した授業改善の積み重ねにより、児童の肯定率は上がっている。 ・家庭学習、予習は定着してきているが、家庭学習を義務的にやっているだけに留まり、自分が課題意識をもってするまでに至っていない児童が感じられる。 ・読書習慣のついていない児童とついていない児童が固定化してきている。 ・授業アンケートの回収率がよくないので、書きやすい形式に工夫していく必要がある。 ・地域では、さまざまな項目で肯定率が高く、温かい見守りを感じる。 ・学校・家庭・地域が一体となって、子どもの成長を支えるのはむずかしい。				⑤今年度もあいさつ運動ののぼり旗を使い、あいさつ運動の気運を高めることができた。集会委員会での目標でも挨拶を取り上げたことで、声の大きさと元気な挨拶をするようになっている。また保護者や地域の方々にも協力していただき、登校班でみんながそろえて元気よく挨拶することを意識し始めている。 ⑥伊佐学や校外活動、一人一鉢、ふれあい給食、友遊タイムなどの体験活動を通して体験活動をしている。学年の枠を越えて関わり合う機会にもつながっている。 ⑦毎週木曜日に全校で生活の振り返りを実施し、きめ細やかな児童の実態を把握している。しかし、教師の思いが全て児童に伝わっていないこともあった。 ⑧小学校でのキャリア教育の目標や在り方が保護者に伝わっていないため肯定率が低いと考える。 ⑨保護者と児童の間の肯定率に差が見られたが、児童自身が「道徳の大切さ」を実感していた。 ⑭学校だよりや学級だより、ホームページから学校の情報を発信していった。				・体力づくりと食育をリンクした世界一周グルメの旅を実施したことで、子どもたちの走る意欲を高めた。また、正しい体力テストを行うために目的や測定方法を掲示したことでスムーズに測定が行えた。さらに柔軟性に課題があったため、学校保健安全委員会でもストレッチや柔軟の紹介をしたことで、児童及び保護者の意識が高まった。全校ダンスの日も設けた。 これらの取組が家庭でも話題となり親子でのコミュニケーションを図ることができた。生活習慣については、学期に一回の生活点検を継続していくことが定着につながると思われる。 ・交通安全に関する地域や保護者からの情報を一斉下校時や学級での指導に生かした。			
4 改善方策		・基礎・基本の定着をめざして、授業改善を継続していく。 ・授業アンケートの形式を書きやすい形の工夫をするとともに、PTA総会でアンケートの回収への協力を呼びかける。 ・「やまぐちっ子学習プリント」を活用しての基礎・基本の定着、活用力の育成を目指していく。チャレンジタイムを充実・発展させるために、実施内容・方法を見直すとともに、日々の授業とのリンクや理解深化問題作成の工夫が必要である。 ・読書活動の活性化を目指し、学級貸出(30～35冊程度)をして、常に「今の一冊」があるような環境にしたい。 ・伊佐学の内容や学習支援ボランティア等の活動の仕方を広げていき、「ふるさと伊佐」についての学習を体系的・継続的に見直していく必要がある。				⑤引き続き、学校全体で挨拶を意識させる。また、家庭での挨拶の必要性も学校だよりや学級だよりで伝えていく。 ⑥伊佐学や校外活動、一人一鉢などの体験活動を今後も「伊佐小学校の伝統」として6年生に伝えていく。 ⑦教師が児童と関わる時間を確保し、関係をつくっていく。 ⑧小学校でのキャリア教育とは、将来の夢に繋がるような活動を実施していることを保護者に伝える必要がある。 ⑨児童が「道徳の大切さ」を実感しているため、引き続き各学年での道徳教育の時間を充実していく。 ⑭保護者と児童の間では、学校の様子を学校からのたよりだけではなく、対話からも学校の情報を伝えていくことができるよう、児童に話をしていく。				・今年度の体力テストの結果から、柔軟性、走力、握力に課題が見られたため、チャレンジタイムの内容を工夫していく。チャレンジ走については、今後も継続して行う。 体力づくり・食育・生活習慣についてのいずれも、今年度の取組を継続実施していく。 ・交通安全については、自分の命は自分で守るという意識の醸成に向けての取組を続けるとともに、追跡指導等、現地での指導も考えていきたい。また、今後も交通安全関係をはじめとする地域情報を収集するために、HPや学校だよりによる呼びかけを行っていきたい。			

